

目 次

はじめに

1 実践報告

小 林 小	P 1
南 小	P 2
細 野 小	P 3
西小林小	P 4
東 方 小	P 5
永久津小	P 6
三 松 小	P 7
幸ヶ丘小	P 8
須 木 小	P 9
野 尻 小	P10
栗 須 小	P11
紙 屋 小	P12
小 林 中	P13
細 野 中	P14
西小林中	P15
永久津中	P16
東 方 中	P17
三 松 中	P18
須 木 中	P19
野 尻 中	P20
紙 屋 中	P21

2 資 料

小林市の地域学校協働活動	
～ 成果・課題・今後の方向性など ～	P22
KSSVC事務局取材等一覧	P24
学校別学校支援ボランティア活動実績	P27

編集後記

2023 年度（令和 5 年度）
小林市地域学校協働活動推進事業
（ K S S V C ）

実 践 記 録 集



小林市教育委員会

こばやしスクールサポートボランティアセンター

はじめに

平成20年に始まった本市の地域学校協働活動推進事業は、現在、すべての小・中学校（21校）に学校運営協議会が設置され、コミュニティースクールの機能を生かした取組が行われています。同時に、少子高齢化の影響が深刻な市町村の一つとして、住みやすく持続可能な社会をどう創るのか、そのような社会を担う子どもたちをどう育てるのかという課題を、地域社会と学校が一緒になって解決していこうとしています。今後は、これまでの地縁的な関係に加えて、まちづくり協議会を始め、さまざまな組織・団体・企業と新しい繋がりを広げることが、これからの小林市の教育に求められています。このような動きは、地域の課題解決に向けた取組にもつながり、持続可能な地域社会の源になると考えます。

学校教育には「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という学習指導要領の目標があります。これを達成するためには、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育み、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて学校づくりと地域づくりを進め、地域と学校が一体となって子どもたちの成長を支えていく必要があります。その為にも、地域コーディネーターの皆さんに参加していただいている学校運営協議会の役割が大変重要になります。学校からの報告と委員の承認・評価に加え、地域と学校がパートナーとして子育てや地域づくりについて考え、行動できるよう、今後の在り方についても考えていただければと思います。さらには、地域の一員としての小中学生の参画にも期待しているところです。

3年以上にわたるコロナ禍は、地域と学校に大きな影響を与えました。しかし、それを乗り切るための新たな創意工夫が各学校で生まれ、同時に、地域と学校の「絆」を見直すきっかけにもなりました。得られた教訓やノウハウは、今後の教育活動に大きな効果をもたらすものと信じています。

終わりに、本冊子の編集にあたり御協力いただきました関係各位に対して厚くお礼を申し上げるとともに、教職員や保護者のみならず、地域の皆様にも手に取っていただき、積極的に活用されることを心より願っています。

令和6年 3月

小林市教育委員会

教育長 中屋敷 史生

【 小林小学校 】

1 実施状況 ◎今年度初めて実施した活動

<ul style="list-style-type: none">○ 読み聞かせ（通年）○ 兵児踊の指導（7月～9月）○ 福祉講話（10月）○ 図書館見学（11月）○ 小林応援団（11月）○ お話会（2月）	<ul style="list-style-type: none">○ 立番指導（通年）○ 味覚の授業（12月）○ 福祉体験活動（11月、12月）○ 放送局のはたらきオンライン学習（12月）○ 手話体験（1月）◎ シン・小林小まつり（12月）
ボランティア登録者数(50)人 年間参加者実数(2500)人 見込も含む	【連携・協働している機関】 ○ 小林小校区まちづくり協議会

2 特色ある取組の紹介

1 活動名「シン・小林小まつり」

○ 活動内容

「自立」・「感謝」・「貢献」をテーマに、生活科・総合的な学習の時間で「チーズ作り体験（4年生対象）」「ストーンペイント（2年生対象）」を行った。地域の方とのふれあいを通して、自分のできることや教えてもらったことへの感謝の気持ちをもち、学習活動に取り組む姿が見られた。



チーズづくりをしている児童の様子



ストーンペイントをする児童の様子

○ 参加した児童の声

- ・ チーズづくりは初めてで、どうやって作るのかが分かった。食べて美味しかった。（4年児童）
- ・ 丸い石にテントウムシを描いて楽しかった。また、やってみたい。（2年児童）

3 取組の成果と課題（○:成果 ●:課題）

- 4年ぶりの「シン・小林小まつり」を開催した。まちづくり協議会やPTA役員の協力を得て、子どもたちや教師、保護者、講師や地域の方にとって楽しく、有意義な活動となった。
- 外部講師との5回ほどの事前の打ち合わせや、材料や場所の準備など、大変なこともあった。「シンプルで」「無理なく」「継続」できるように、組織や計画を見直すことが課題である。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- ・ 実行委員会などの組織をつくり、効果的な運営、計画、活動にしていく。
- ・ 外部講師に負担のないよう、いつ打ち合わせをするかなど計画を立てる。

1 実施状況

- | | |
|------------------|------------------|
| ○ 読み聞かせ(通年) | ○ 朝の見守り活動(通年) |
| ○ 茶道クラブ(通年) | ○ 学習支援ボランティア(通年) |
| ○ 史跡めぐり 6年(5月) | ○ 出の山見学 3年(6月) |
| ○ 清掃工場見学 4年(6月) | ○ 水源地見学 4年(7月) |
| ○ スーパー見学 3年(9月) | ○ 水辺の学習 5年(6月) |
| ○ 消防署見学 3年(10月) | ○ 南小祭り全学年(11月) |
| ○ 市立図書館見学 2年(9月) | ○ 警察署見学 3年(11月) |
| ○ 租税教室 6年(12月) | |

ボランティア登録者数(25)人
年間参加者実数(100)人 見込も含む

【連携・協働している機関】

- 南小校区まちづくり協議会
- 読み聞かせサークル「たんぼぼ」

2 特色ある取組の紹介

1 活動名 南小まつり

2 実施日 令和5年11月26日(日)

3 活動紹介

講師の先生を招いて、各学年、以下のような体験活動を行いました。

1年生	ちぎり絵	4年生	盆景、ストーンペイント、竹細工
2年生	エコバッグ作り	5年生	県技能士連合会 「ものづくり体験教室」
3年生	お茶体験、しおり作り	6年生	



4 参加者の声

日頃はなかなかできない体験ができ、大変有意義な活動となった。(職員の感想)

3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- これまで同様、ボランティアや地域の方の協力が、学習や体験活動の充実につながっており、大変ありがたい。
- ボランティアや地域の方と、活動目標や計画を共有できるよう連絡を取り合うことが必要である。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

学校と地域が互いのニーズをもとに連携できるよう計画的に打合せの場を設定したい。

【 細野小学校 】

1 実施状況

- 保護者・ママーズによる読み聞かせ(通年) ○ 登下校の見守り(通年) ○ 交通安全教室(4月)
- 奉仕作業(6月) ○ 非行防止教室(6月) ○ 灯ろうづくり(6月) ○ 携帯スマホ安全教室(7月)
- 図書館見学(9月) ○ そばの種まき(9月) ○ 手話教室(10月) ○ 史跡巡り(10月)
- 稲刈り(10月) ○ 国際交流学習(11月) ○ 消防署見学(11月) ○ 鑑賞教室(12月)
- そば収穫(11月) ○ いのちの授業(12月) ○ 立志の集い(12月) ○ 餅つき(12月)

ボランティア登録者数(25)人

年間参加者実数(388)人 見込も含む

【連携・協働している機関】

- 細野まちづくり協議会 ○ JA 青年部
- 読み聞かせサークル「ママーズ」

2 特色ある取組の紹介

○ 米作り

例年、細野小学校では5年生児童が米作り体験を行っており、今年度もJA 青年部や細野まちづくり協議会の方々にご協力をいただき、田植え、稲刈りを行った。



【参加者の声(田植え)】「最初は泥の感触に悲鳴も聞かれましたが、徐々に慣れて手際よく植えられるようになりました。いい経験ができました。大きく育ちますように。」

収穫したもち米は、参観日に販売を行うとともに、そのもち米を使って作ったもちが5年生児童に配付された。もちつきについては、4年ぶりに実施したが、保護者の協力も多く、スムーズに実施できた。反省点について検討し、次年度につなげていきたい。

3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- 米作り体験を通して、作物を作る大変さや、育てることの難しさ、そして収穫の喜びなどを味わうことができた。
- どの行事に対しても、地域の方々が積極的に支援してくださるので、児童の学習環境の充実につながっている。
- 児童に活動の目的を十分理解させるとともに、自分たちでできる活動を明確にしておく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- ・ 地域の人々の支えがあつてこそその活動であるので、今後も協力していただけるように、引き続き連絡・調整を密に行うとともに、感謝の気持ちを伝える場を設ける必要がある。
- ・ 今年度行った活動の反省点などを確実に引き継いで、さらに充実した活動にしていきたい。

【西小林小学校】

1 実施状況

○登下校安全指導(通年) ○読み聞かせ(通年) ○太鼓クラブ(通年) ○茶飲ん場・放課後子ども教室(通年) ○4年清掃工場見学(6月) ○5・6年畦づくり(6月) ○5・6年田植え(6月)
○6年市庁舎見学・議会傍聴(6月) ○3・4年手話講座(7月) ○3年グンゼ工場見学(7月)
○全学年慰霊集会(7月) ○5・6年稲刈り、脱穀(10月) ○2年市立図書館見学(10月)
○3年消防署見学(11月) ○3年史跡巡り(12月) ○4年福祉体験(1月)

ボランティア登録者数 ※登録なし
年間参加者実数(110)人

【連携・協働している機関】
にっこばまちづくり協議会

2 特色ある取組の紹介

① 平和のバトンをつなぐ

校区にいらっしゃる戦争体験者、木佐貫ヒサエ氏を学校に招いた慰霊集会を実施した。校長との対談形式で平和についての思いを直接児童に語っていただいた。児童は非常に真剣に木佐貫氏の話に耳を傾け、戦争の悲惨さと平和の尊さを深く受け止めていた。集会後は子どもたちと木佐貫氏の間で文通がなされるなど、平和のバトンが確かに受け継がれる取組となった。



② 読み聞かせ

今年度も地域の読み聞かせボランティア「ゆめいろ文庫」の皆様による読み聞かせを実施している。新たな取組として、6月に家庭教育学級とタイアップして「親子で楽しむ読み聞かせ」講座を開いた。読み聞かせ連絡協議会会長の坂下氏を講師に招き、読み聞かせのポイントを直接教えていただいた。当初3名だったボランティアの人数が7名まで増え活性化している。本校の卒業生となる西小林中学生による読み聞かせは5年目となった。身振り手振りをつけた朗読や、落ち着いた語り、児童は憧れをもつと同時にお話の世界に引き込まれていた。



③ 茶飲ん場・放課後子ども教室

本校では、毎月第1・3水曜日の放課後に、地域の皆様と子どもたちが触れ合う「茶飲ん場・放課後子ども教室」が開催されている。今年度もにっこばまちづくり協議会のご協力により、伝統的な昔のおもちゃで遊んだり、運動場で思い切り体を動かしたりしながら、楽しく活動している。毎回、興味・関心を高めるようなプログラムが工夫されており、子どもたちは放課後に地域の人と触れ合う楽しさを感じることができている。今年度は、これまでPTA主体でやっていた門松作りを茶飲ん場の時間に計画し、地域の方々と子どもたちが一緒になって取り組むことができた。

3 取組の成果と課題 (○: 成果 ●: 課題)

- 今年度は、地域にゆかりのある一流の方々(文化・芸能)に直接触れる機会を積極的に設定したり、家庭教育学級と連携して、親子で学びのある取組を意図的に計画したことにより、児童の意欲向上を図るとともに、ふるさと・地域のよさを再確認することができた。
- 教科学習やキャリア教育を目的とした学習活動等に、地域ボランティアを積極的に生かせるよう、教育課程を地域との関わりの中で見直し、学習内容を工夫していきたい。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

地域ボランティアの核となるにっこばまちづくり協議会との連携をさらに深め、地域に誇りをもつ児童の育成を図るための教育活動について工夫していく。

1 実施状況

○よんみろ会による読み聞かせ（通年） ○登下校指導（通年） ○清掃工場見学（6月）
 ○SDGsの授業（7月） ○河川清掃と稚魚放流・魚つかみ取り（7月） ○水源地見学（7月）
 ○COOP見学（9月） ○陰陽石祭り（9月） ○租税教室（12月） ○人権教室（12月）
 ○地域高齢者への年賀状（12月） ○町探検（12月） ○給食感謝集会・給食センターとのオンライン授業（12月） ○高齢者福祉体験（1月） ○トヨタカローラ宮崎協働授業（1月）
 ○小林市の自然環境に関する授業（1月）等

ボランティア登録者数(27)人
 年間参加者実数(172)人

見込みも含む

【連携・協働している機関】

小林市社会教育課、小林市社会福祉協議会、東方まちづくり協議会、小林市人権擁護委員会、県埋蔵文化財センター、県総合博物館、小林・高原・野尻漁業協同組合など

2 特色ある取組の紹介

1 河川清掃活動、稚魚放流・魚のつかみ取り大会

○ 活動内容

本年度も、小林・高原・野尻漁業協同組合とPTA役員を中心に、全家庭に呼びかけ、学校近隣の岩瀬川の河川清掃活動、ウナギの稚魚放流、学校プールにて魚のつかみ取り大会を行った。東方地区の自然の豊かさに触れるとともに、この自然環境や命を守っていかうとする子どもたちの意識を高める活動となった。



河川清掃



ウナギの稚魚放流



魚のつかみ取り大会

○ 参加者の声

- ・ ウナギの稚魚を放流したけど、大きくなるまで育ててほしい。
- ・ 東方の豊かな自然に気付いた。この環境をみんなで守っていきたい。

2 陰陽石祭りへの参加(輪太鼓踊り)

○ 活動内容

4年ぶりに開催された東方地区の陰陽石祭りに参加し、「輪太鼓踊り」を披露した。地域のまちづくり協議会等と連携し、東方の伝統芸能を祭りの参加者へ幅広く紹介できた。

○ 参加者の声

- ・ 一生懸命練習した踊りを、たくさんの人に人に見てもらえて、応援もしてもらって嬉しかった。



3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- 地域の自然環境や文化財を通して、地域への理解を深め、誇りをもたせることができた。専門家やボランティアの協力をいただき、充実した体験を通じて、深い学びにつなげることができた。
- 地域素材や人材を積極的、継続的に活用し、郷土への理解と愛情を深めていく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

キャリア教育の視点をふまえて、総合的な学習の時間の年間計画や活動内容の工夫を行い、積極的に地域の人材、素材を活用していく。

【 永久津小学校 】

1 実施状況

- 読み聞かせ（通年）
- 登下校の見守り（通年）
- 放課後子ども教室（通年）
- 生活科支援（1、2年：芋作り）
- PTAによる奉仕活動（5月、11月）
- 稲作体験（6月～11月 5年生）
- 蕎麦プロジェクト（9月～12月 6年生）
- 外部講師による学習補助（2年～芋植えと芋掘り、3・4年～味覚の授業、4年～水生生物調査、5年～手話教室、6年～非行防止教室）
- 門松づくり（保護者）

ボランティア登録者数(24)人
年間参加者実数(435)人

【連携・協働している機関】

永久津いきいき協議会 JA こばやし営農組合

2 特色ある取組の紹介

(1) 「稲作体験」

今年もJA こばやし、営農組合にアドバイスいただき、小中学校合同で計画を立てた。6月23日、丁寧に苗の植え方について御指導をいただき、5年生が、中学生と一緒に田植えを行った。10月31日には、鎌を使って稲刈りの体験をした。体験を通して、児童は米作りに関わる方の努力や工夫を知ることができた。その体験も含めて、5年生は総合的な学習の時間を活用して、米作りに関する



まとめを行った。PTA主催による地域の方々との交流活動として、12月17日に中学校と合同で収穫したもち米を使って保護者や地域の方と「餅つき」の体験活動を行った。また、地区の「母ちゃんの会」の方々の協力で温かい豚汁の振る舞いもしていただいた。



(2) 「地産地消を目指した蕎麦プロジェクト活動」

JA こばやし、営農組合、地域住民の方々に御協力いただき、9月～12月の期間を使って永久津地区の畑で蕎麦の栽培、収穫を行う計画を立てた。この体験には6年生が参加する予定であったが、天候不順などの理由により、予定していた9月の種蒔きはできなかった。しかし、12月にJA こばやしの協力のもと、蕎麦の実を他の関係機関から集めていただき、蕎麦打ち体験を12月19日に中学校で行った。JA こばやし婦人部の協力もいただき、美味しい蕎麦を食べることができた。児童は、蕎麦の育成体験を通して、食の大切さにも気付くことができた。地域の特性を生かした永久津ならではの食の体験ができた。



3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 保護者や地域の方々の御理解と御協力をいただき、児童は地域との関わりをより深く実感するとともに、食についての関心や理解を深めることができた。
- 実施にあたり、時期や日程等、天候に左右される場面があり、計画や打合わせの段階で、柔軟に対応できるように継続した活動に取り組む必要があった。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

地域行事に積極的に参加し、地域の方々とふれあう機会を増やすとともに、ボランティアを含めた人材発掘に努められるように地域とのきずなを深める学校のマネジメントの工夫と改善を図る。

1 実施状況

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ○ 登校時の見守り隊(通年) | ○ 5年総合「米作り」準備・補助(6・10月) |
| ○ 図書室支援(通年) | ○ 6年社会科「小林市の史跡」の講師(7月) |
| ○ 水曜日の読み聞かせ(通年) | ○ 七夕飾り用竹確保(7月) |
| ○ 交通安全教室(4月) | ○ 非行防止教室(10、1月) |
| ○ 運動会準備(5月) | ○ 6年社会科「租税教室」(12月) |
| ○ リサイクル品収集・美化作業(6・10・2月) | ○ もちつき・門松・イルミネーション作り(12月) |
| ○ あいさつ・安全運動(4・7・10・2月) | ○ 3・5年「手話教室」(12月・1月) |
| ○ AED 救急法講習会(6月) | ○ クリスマス読み聞かせ(12月) |
| ○ 学校保健委員会(6月) | ○ 3年総合「福祉体験活動」講師(1月) |
| ○ 4年総合「岩戸神楽学習」(6月) | |

ボランティア登録者数(1)人
年間参加者実数(545)人 見込も含む

【連携・協働している機関】

- | | |
|-----------------|--------------|
| ○ 小林市市役所 | ○ 小林市社会福祉協議会 |
| ○ 小林市商工観光課 | ○ 小林市交通安全協会 |
| ○ 小林市教育委員会社会教育課 | ○ 小林中央消防署 |

2 特色ある取組の紹介

1 活動名 岩戸神楽

○ 活動内容

6月29日、4年生はこすもす科の学習で、三松地区に伝わる神楽「岩戸神楽」の岩戸神楽保存会の方々に来ていただき、話を聞くことができました。岩戸神楽の由来をはじめ、実際に使用する着衣や道具を見せていただいた。子どもたちは興味津々で聞いたことをしっかりメモに取ったり、道具を触ったりしていた。



○ 参加者の声

演奏する楽器や衣装を直に見ることができ、岩戸神楽を身近に感じるようになってうれしかった。自分たちの住む地域に残る素晴らしい伝統に触れることができ、これから、自分たちが伝統を受け継ぐ後継者として伝えていきたいと考えた。



3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- 学校行事に協力的な保護者や地域の方が多く、学習活動でも積極的に外部講師と連携した取組が行われ、地域に開かれた学校づくりの推進が図られた。
- KSSVCや外部講師と学級担任の連携が図られており、ねらいに沿った活動が展開できた。
- これまでの取組に加え、効果的な新たな取組について検討していく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- 今後も「てなむ」通信や取組の様子の写真を校内に掲示するなどして広く紹介し、他校の活動を参考にしたり、本校ならではの活動に生かしたりしていきたい。
- 総合的な学習の時間やこすもす科のねらいに沿った効果的な活動を、今後も職員間で引継ぎしたり検討したりして、実施していきたい。

【 幸ヶ丘小学校 】

1 実施状況 ◎今年度初めて実施した活動

・登校時の見守り活動(通年)・読み聞かせ(通年)・子ども農園の整備等(通年)・太鼓指導(通年)・放課後子ども教室(通年)・交通安全教室(5月)・PTA スポーツ大会(5月)・社会科見学(6月グンゼ工場)・社会科見学(9月コープ小林店・11月消防署)・魚のつかみ取り大会(7月)・水泳指導(6・7月)・中学生による読み聞かせ(◎オンライン 7・10月)・木工教室(8月)・人権教育研修(8月)・PTA 奉仕活動(8月 PTA 役員)・幸っ子フェスタ(10月)・太鼓フェスティバル参加(11月)・鑑賞教室・かおる幼稚園との交流、職場体験(12月)・給食感謝集会(1月)◎防災食体験(1月)・中学生による吹奏楽演奏(1月)・5・6年薬物乱用防止教室(2月)

ボランティア登録者数(約30)人
年間参加者実数(約350)人

【連携・協働している機関】 ○「協働の学校づくり」推進協議会
○幸ヶ丘小放課後子ども教室 ○にっこばまちづくり協議会

2 特色ある取組の紹介

1 幸ヶ丘太鼓の指導

○ 活動内容

本校職員の指導に加え、『(株)太鼓屋太鼓研修センター「響」』より外部講師を招き、幸ヶ丘太鼓の継承と技の向上を図っている。本年度も、西諸音楽大会、県太鼓フェスティバルに参加した。特に、運動会では地域の方に披露し喜ばれている。また、大きな舞台上で演奏することで、全員が自信をもつことができ、普段の学校生活の中で生きている。



【外部指導者による指導の様子】

2 幸っ子フェスタ

○ 活動内容

10月に世代間交流をねらいとして「幸っ子フェスタ」を行った。本年度は、宮崎県技能士会連合会の方をお呼びしてフラワー教室を行った。保護者や地域の方も参加し、技能士の指導の下に一人1個ずつフラワーアレンジメントを作ることができ、みんな楽しく活動することができた。



【フラワー教室の様子】

○ 参加者の声

子どもたち(孫)と一緒に作ることができて、本当に楽しかったし、とても記念になりました。これからもこのような機会をたくさんつくってほしいです。

3 PTAスポーツ大会

○ 活動内容

地域のスポーツ指導推進委員の方々を招き、体力向上と親子交流を目的として行った。多くのレクリエーション活動を行う中で、参加した全員が体を動かすことの喜びと活動の楽しさを感じることができた。



【スポーツ大会の様子】

3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- 成果 コロナが明けて、いろいろな活動が解禁となり、地域の方々の協力を得ながら本校ならではの教育活動を数多く展開することができた。改めて地域の方々のありがたさを感じた。
- 課題 コロナ以前に行事に参加していただいた方々の高齢化が進んでおり、高齢化を考えて活動を計画する必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- どのような状況や変化にも対応できるように、関係機関との連携を密にしながら、現在行われている活動が、地域や学校、児童にとって本当に必要な活動なのかを考え、精選していきたい。
- 今後も地域に愛され地域に根ざした学校として、学校と地域、双方の思いを汲み取り、みんなが楽しみながら学べる活動を目指したい。

【 須木小学校 】

1 実施状況 ◎ 今年度初めて実施した活動

○ 交通立ち番指導（通年）	○ 読み聞かせ（通年）
○ 交通教室（5月）	○ 奉仕作業（6月、10月）
○ 4年生社会見学（6月）	○ 低学年芋の苗植え（6月）
○ 3年生社会科見学（8,9月）※2回	○ クラブ活動でのSUP・カヤック体験（9月）
○ 手話講座（9月）	○ 校内の草抜き作業（10月）
○ 2年生まちたんけん（10月）	○ 消防署見学（10月）
◎ ほぜ祭り用の縄織り体験（10月）	○ うなぎの放流体験（11月）
○ 保育園との交流、芋ほり（11月）	○ 4年生社会科見学（11月）
○ 保育体験（11月）	○ 福祉体験（11月）
○ 租税教室（12月）	◎ 柚子農家見学（12月）
○ 非行防止教室（12月）	○ 警察署見学（12月）
○ 火災の避難訓練（12月）	◎ ボッチャ体験活動（1月）
ボランティア登録者数（21）人 年間参加者実数（143）人 見込も含む	【連携・協働している機関】 小林市役所須木庁舎、すきむらづくり協議会 社会福祉協議会須木支所

2 特色ある取組の紹介

1 活動名 SUP・カヤック体験（クラブ活動）

○ 活動内容

今年度も、「すきむらんど」の御協力を得て、クラブ活動でSUP・カヤックの体験をすることができた。当初の予定は7月であったが、前日に小野湖の水が濁るアクシデントがあり、8月へ延期となった。当日は 天気もよく、インストラクターの方の御協力をいただき、楽しく充実した活動ができた。



○ 参加者の声

- ・ 始めはうまくできなかったけれど、教えてもらったら乗れるようになって楽しかった。
- ・ 須木でサップ体験ができてうれしかった。

2 活動名 ほぜ祭り用綱づくり体験

10月に「すきむらづくり協議会」の主導のもと、ほぜ祭りで行う「子ども相撲」の土俵で使用する綱づくりを実施した。地域の方と小中学生がふれあいながら巨大な綱をつくりあげることができた。



○ 参加者の声

- ・ みんなで協力して綱が作れてよかった。ほぜ祭りが楽しみ。

3 取組の成果と課題（○:成果 ●:課題）

- 地域の方に学校環境整備作業を行っていただき、保護者・児童・職員の負担を減らすことができた。
- 児童が地域の方と一緒に活動する経験を通して、須木のことを知ることができ、地域を愛する心情を高めることにつながった。
- 新型コロナウイルス感染防止のため取りやめた活動が、中止のままになっているものがあり、地域と学校との距離感が遠くなってしまっている部分もある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

各地区の地区長たちと話し合う場面を設定し、これまでの活動の中で、再度取り組んでいけそうなものを見いだしていきたい。

1 実施状況

○読み聞かせ（通年）	○伝統芸能指導【棒踊り】（6～9月）
○地域の歴史学習支援（4年11月）	○田植え・稲刈り支援（6月・10月）
○登下校安全指導（通年）	○学習支援：プリントの丸付け・印刷他（通年）
○芋植え・芋掘り支援（6月・10月）	○収穫祭（12月）
○国際理解教育支援（3・4年授業支援）	○手話学習（3・5年授業支援）
支援ボランティア登録者数（45人） 年間参加者実数（約400人）	【連携・協働している機関】 JA こばやし・営農組合・見守り隊・棒踊り保存会・読み聞かせ「たんぽぽ」・国際交流支援の会

2 特色ある取組の紹介

○ 新地馬場棒踊り

野尻小校区に伝わる伝統芸能「新地馬場棒踊り」は、例年5・6年児童がその歴史について学んだ後、秋に行われる運動会で披露している。ここ数年はコロナ禍により規模が縮小されたり、十分な練習ができなかったりしたが、本年度は久しぶりに衣装を着て運動会で披露することができ、参観した保護者の方からは「やはり衣装を着て踊る勇壮な姿はすばらしい」との声も聞かれた。



「棒踊り」の練習に取り組む児童の様子はとても熱心であり、指導していただく「東麓新地馬場棒踊り保存会」の方々にも、指導のために学校へ何度も来校していただき、充実した活動となった。

また、PTA には衣装の準備や手入れ、着付けの際にも多大なる協力をいただいている。「棒踊り」の学習をとおして、子どもたちは地域のよさに気付くと共に、地域を愛する子どもたちが育っている。

○ 農業体験活動

野尻小では、東麓営農組合の協力のもと、農業体験活動として「いも作り」と「米作り（もち米）」に取り組んでいる。「いも作り」については1・2年生が、「こめ作り」については3年生が行い、農作物を育てる体験をとおして、自然や人、地域のよさに気付くことを目指している。



それぞれ、毎年6月に「いもの苗植え」と「田植え」を行い、11月に「いも掘り」と「稲刈り」を行い、毎年の恒例の行事となっている。

収穫したもち米は、12月に「収穫祭」として、営農組合とPTAの協力により「もちつき」を行い、食に対する感謝の気持ちを養う活動を行っている。営農組合の他にも、保育園や幼稚園の園児とも共に活動を行っており、幼保小連携の面からも充実した活動が行われている。

3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、本年度は、数年ぶりに様々な機関との連携・協働が可能となり、充実した1年となった。
- 学習支援ボランティアとの連携強化のためにも、事前に十分な打合せ等を行っていく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

数多くの方や機関と連携・協働しながら野尻小の教育活動が行われているが、今後は横の繋がりを強化していくことにより、更に組織的・計画的な教育活動を行っていきたいと考える。

1 実施状況

- 読み聞かせ（毎月1回、朝の活動の時間に実施）
- 学習支援ボランティアによる授業支援（通年）
- 通学時におけるあいさつ運動（地区別とPTA専門部会を交互に、毎月実施）
- PTA奉仕作業および環境整備部美化活動（年間5回実施）
- 学校田での稲作活動の支援（PTA事業部が中心、6月田植え、11月稲刈り）
- 梅ちぎり（5月）
- プール清掃における消防団の協力（6月）
- みかんやまスマイルフェスタにおける防災活動の支援（スマイル会議・地婦連から11月）

支援ボランティア登録者数（8人）
年間参加者実数（424人） 見込も含む

【連携・協働している機関】

- 読み聞かせボランティア「たんぼぼ」
- みかんやまスマイル会議

2 特色ある取組の紹介

○ 梅ちぎり

学校下にある梅林で、1年生が毎年5月に地域の方々と共に梅ちぎりを行っている。ちぎった梅は農産加工センターの協力を得て、梅干に加工した後、家庭に持ち帰っている。

（児童感想：おおきなうめのみがたくさんとれた。たかいところはだいにのってとれてうれしかった。）



○ 栗須っ子米（もち米栽培と収穫）

学校近くにある学校田で、毎年「栗須っ子米」（もち米）を育てる活動を行っている。昨年より5年生が種から苗を育てている。地域の様々な方とふれ合いながら田植えから収穫まで行う「栗須っ子米」作りの活動は、栗須小に欠かせない体験活動の一つとなっている。（児童感想：初めて種をまいてみて、これがお米になるのかと不思議な感じがした。）



○ みかんやまスマイルフェスタ

毎年11月下旬、栗須っ子米の収穫祭と地域の防災活動を融合させた「みかんやまスマイルフェスタ」を開催している。今年の午前中は、もちつき体験や炊き出し訓練として婦人会より芋煮の振る舞いが行われ、午後からは防災訓練として、地区体育館にて避難所体験を開催した。もしもに備えて学校と地域が一体となって貴重な体験活動にすることができた。



3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 例年、学校で行われる様々な活動に地域住民や関係機関にご協力いただいている。三ヶ野山地域に伝わる共同助力の精神「三ヶ野山魂」により、子供たちのため、学校のためと惜しみなく力を尽くしてくださっている。
- 新型コロナによる制限が緩和されたことを受け、様々な行事が復活したが、それぞれの行事の意義や目的についても一度見直し、学校と保護者、地域の三者の意向をバランスよく取り入れながら進めていく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- ボランティア会議等の定期的な協議の場を設けて情報交換を行うと共に、今後のよりよい取組のために、子供たちのために何が出来るかを共に考え活動していく連携・協働の仕組みを整えていく必要がある。

【 紙屋小学校 】

1 実施状況

- 読み聞かせ（通年） ○ 登下校の見守り（通年） 文化伝承活動「城攻め踊り」（通年）
- 環境整備活動（通年、一斉は年2回） ○ 運動会支援（9月）
- 学習支援：生活科「七夕飾りづくり」（7月）、「昔の遊び」（2月）
- 体験活動支援「もち米づくり」（5月：田植え、10月：稲刈り、通年：除草等）
「イモの栽培」（5月：イモの苗植え、10月：イモ掘り、通年：除草等）
「もちつき」（2月）

ボランティア登録者数(20)人
年間参加者実数(280)人

【連携・協働している機関】
JA 野尻 校区社協

2 特色ある取組の紹介

(1) 体験活動「田植え、稲刈り」

小中合同で5月に田植え、10月に稲刈りを行っている。中学校では収穫したもち米を使って餅つきを行い、小学校では卒業祝いの紅白餅にして卒業式の際に配付する予定である。地域コーディネーターを中心として、多くの保護者の支援をいただき、農業と食についての貴重な体験活動となっている。

【保護者の感想】子どもと共に体験学習に参加できることが楽しみの一つでもある。



(2) 学習支援「ハートタイム」

読み聞かせグループ「たんぽぽ」の皆さんによる朝の読み聞かせを年間15回行っている。それに加え、「ハートタイム」として1時間（国語）の読み聞かせの時間を年間1回設けている。1時間たっぷり「読み聞かせ」や「語り」、「手遊び」に親しむことができ、子ども達も大変楽しみにしている。



【児童の感想】読み聞かせは毎回楽しみで、どんな話が聞けるか待ち遠しいです。

3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 地域の皆様に支えられ、充実した活動が可能となっている。児童とボランティアの方々との交流が深められるため、良好な関係が継続されており、双方が喜びと充実感を感じることができている。
- 学習支援ボランティアの方の固定化、高齢化が進んでいる。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

学習支援の内容について関係者との協議を行い、振り返りと改善を行っていく必要がある。また、新規ボランティア発掘のために地域への呼びかけを行っていく。

【 小林中学校 】

1 実施状況

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ○ 交通教室（5月） | ○ 薬物乱用防止教室（6月） |
| ○ 手話講座（6月） | ○ 農業体験学習（7月） |
| ○ 「いのちの教育」平和学習（8月） | ○ 救急救命講習会（8月） |
| ○ 鑑賞教室（11月） | ○ 避難訓練（11月） |
| ○ リコーダー講習（11月） | ○ LGBT講話（12月） |
| ○ 立志式（2月） | ○ 租税教室（3月） |
| ○ 部活動支援、読み聞かせ（通年） | ○ 朝のあいさつ運動（9月、1月） |

ボランティア登録者数(18)人

年間参加者実数(417)人

【連携・協働している期間】

KSSVC 事務局・小林市キャリア教育支援センター等

2 特色ある取組の紹介

【卒業生に向けての読み聞かせ】

本校では、本校の読み聞かせボランティア「小林子ども遊学会」による卒業生に向けての読み聞かせが3月に実施されます。数年来続いている催しで、コロナ禍において3年ほど実施できていませんでしたが、昨年度4年ぶりに開催することができました。※写真は昨年度の様子

読み聞かせについては、写真のように大型スクリーンに絵本を映し出し、3年生全員が一斉に聞くことができます。また、生徒も知っている歌と一緒に歌ったりするなど、卒業を間近に控えた3年生にとって思い出に残る時間となりました。以下は生徒の感想である。

- ・「2年生までは読み聞かせがあったけど、この1年間はなかったのでこれまでのことを懐かしく思いながら過ごせた2時間でした。メンバーの方々のやさしさや温かさを感じました。」
- ・「入試が終わってなんとなくホッとしていたけど、今日のこの時間は完全に入試のことを忘れることができました。ありがとうございました。久しぶりに、読み聞かせでほっこりすることができました。」



3 取組の成果と課題 (○：成果 ●：課題)

- 4年ぶりということで不安もありながらの開催であったが、「小林子ども遊学会」のご協力とご支援のおかげで3年生にとっては有意義な時間となった。
- 開催する場合は、県立入試後となるため、入試の日程が気になるところである。卒業式までに時間的に余裕があれば何ら問題はないが、時間がない場合には3学年職員と確認をしながら計画を立てていく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

今回の読み聞かせでは、準備等での学校の負担感は全くなかった。改めて、学校に協力する地域の姿勢に心を打たれた。地域学校協働活動を継続していく上で、負担感より満足感や達成感が勝るような取組を今後も計画していかななくてはならない。

【 細野中学校 】

1 実施状況 ◎ 今年度初めて実施した活動

<ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせ(通年) ○朝のあいさつ運動・ふれあい登校(通年) ○部活動支援(通年) ○交通安全教室(4月27日) ○体育大会(5月21日) ○西諸みんなで人権について考える取組(7月3日) ○租税教室(3年生;7月14日) ○農業体験学習(9月21・22日:1年) ○職場体験学習(9月21・22日:2年) ○地震想定避難訓練(8月30日) ◎細野地区グリーン作戦(10月7日) ○みやざきシェイクアウト(11月2日) 	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉体験手話講座(11月20日:3年) ○キャリア教育講演会(11月22日:3年) ◎人権学習講座:いのちの授業(12月4日) ○図書館まつり(12月19・20日) ○駅伝ロードレース大会(12月15日) ○薬物乱用防止教室(12月21日) ○門松づくり(12月24日) ○火災想定避難訓練(事前告知無し1月10日) ◎根性行進・ふるまい(1月14日) ◎キャリア教育13歳のハローワーク(1月26日:1年) ○面接指導(1月・2月:3年) ○立志式(2月21日:2年)
<p>ボランティア登録者数 (0人) 年間参加者実数 130人 *見込みを含む</p>	<p>【連携・協働している機関】○細野地区まちづくり協議会 ○北きりしま田舎物語推進協議会 ○社会福祉協議会 ○市教育委員会スポーツ振興課 ○KSSVC ○読み聞かせグループ:ママーズ</p>

2 特色ある取組の紹介

<p>《地域と連携した教育活動》 『防災教育を取り入れたグリーン作戦』</p> <p>地区青少年育成市民会議と連携して防災教育の観点から通学路の清掃活動と安全、また大規模災害を想定した防災上の留意事項等を生徒、保護者、地域の方々が一緒になって学習した。</p> <p>【生徒の感想】 何気なく通っている通学路の危険なところや気をつけることが分かってよかった。家族にも教えていこうと思う。</p>	<p>《キャリア教育活動》 『13歳のハローワーク』</p> <p>本事業では異なる職種講師6名を招いて、パネルディスカッションや各ブースごとの活動などを行った。それぞれの職業の特徴、働くことの意義、職業に関する生きがいや苦労など、職業を通して体験的に学ばれたことを聞き取り、自分の将来設計に活かす資料とした。</p> <p>【生徒の感想】 実際に職業に就いている人の話を聞き、働くことは大変だけれども、生きがいをもって働かれていることが分かった。これからの自分の進路に活かしていこうと思う。</p>	
<p>《人権教育》 『いのちの授業』</p> <p>西諸みんなで人権を考える取組の一環として、エンドオブライフ・ケア協会による「いのちの授業」を実施した。授業での学びを家庭に届け、家族みんなで支え合うなど、折れない心を育てることの大切さを学んだ。</p> <p>【生徒の感想】 講師の先生の話聞いて、自分で自分を認め、自分を大切にしようと思った。また他の人の話を聞いてあげようと思った。</p>	<p>《地域と連携した教育活動》 『根性行進』</p> <p>本校の伝統行事として行われてきた行事である。校区内の景勝地や文化財に触れながら歩くことを通して、忍耐と友情を培う活動として実施している。</p> <p>【生徒の感想】 寒かったけれど、みんなで楽しく歩くことができてよかった。きつくてもあきらめない心を大切にしていきたいと思った。</p>	

3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 本地区の取り組みについては、地域の各機関や団体、また法人等の協力や支援によって多くの行事を実施することができた。特に本年度は、安全や防災教育に係る学習活動に視点をあて、現在及び将来にわたる安心・安全な学校生活の構築に寄与できたものとする。 ● キャリア教育、また防災に係る行動づくりは、生徒の主体的な意識と行動に基づくものである。今後、これらの課題に係る具体的な活動を更に重ね、地域、家庭と一体になって生徒の態度や行動を育成して行くことが求められる。
--

4 課題解決の方策、今後の方向性など

<ul style="list-style-type: none"> ○ 関連する活動計画について、活動の見直しや精選を図りながら地域や関係機関とのスムーズな連携した学校教育全体計画を編成していくことが重要である。それらの視点をもとに「子どもファースト」の活動計画を実践化していく。
--

【西小林中学校】

1 学校支援の実施状況

◎ 今年度初めて実施した活動

○ 読み聞かせ（通年） ○ 交通教室（4月） ○ 技術・家庭科（さつまいもの植え付け：5月、さつまいもの収穫：11月、さつまいもを使った郷土料理調理実習：12月） ○ 不審者対応避難訓練（5月） ○ 認知症サポーター養成講座（5月） ○ 手話講座（7月） ○ ライフプラン教室（7月） ○ 平和学習（全校集会：8月） ○ 防災学習（9月） ○ キャリア教育「未来予想図講話」（11月） ○ 農業体験（11月） ◎ キャリア教育「職場体験学習（ジョブシャドウイング）」（11月） ○ 火災対応避難訓練（12月）
○ キャリア教育「未来予想図発表会」（12月） ○ 郷土料理づくり（12月）
○ 立志のつどい（2月） ○ 先輩と語る会（3月）

ボランティア登録者数(0)人

【連携・協働している機関】

年間参加者実数(約110)人

○西小林地区婦人会 ○につこばまちづくり協議会

○社会福祉協議会 ○読み聞かせグループ:ゆめいろ文庫

2 特色ある取組の紹介

《地域人材を積極的に活用したキャリア教育(生き方を語る教育)の実践》

1 6月「認知症サポーター養成講座」(3年)

これまでも実施していた講座であるが、校区内の高齢者福祉施設の方を講師とし、地域包括支援センターや小林市社会福祉協議会と連携し、学習を実施した。

認知症を患う高齢者への対応を学ぶだけではなく、地域の言葉での紙芝居やグループに分かれての演習と、地域の方と共に生徒が学べる時間となり、大きな成果を得た。



2 11月「未来予想図講話」(3年)

「地域人材を積極的に活用したキャリア教育」に取り組む中で、最終ゴールと設定している「未来予想図」作成において、生徒たちが主体性をもって、課題解決に取り組むきっかけとして「未来予想図講話」を実施した。アドバイザーとして小林市役所企画政策課の方や小林まちづくり株式会社の方々に講話をしていただき、その後にフリーディスカッションも設定した。



3 5月～12月「さつまいもの植え付け～郷土料理づくり」(2年)

本校の伝統行事の一つになる「郷土料理づくり」は、第2学年が技術・家庭科の授業の一環として、5月に芋の植え付け作業を行い、11月に収穫作業を行うものである。その収穫した芋を材料に、地域婦人会の協力を得て、家庭科の授業で、各学年で郷土料理の一つである「がね」をつくる活動を実施した。地域の方達と思い出に残る楽しい時間を共有することができた。



3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- 昨年度の成果を土台にしながら、更なる見直しを行い、地域人材を活用したキャリア教育の質の向上を図ることができた。コロナ禍明けの中で、感染防止対策を行いながらの実施ではあったが、地域住民の学校教育への参画意識がさらに高まったと感じる。
- 講師の方々と学校行事の日程調整が難航する場面もあった。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

今後は、現状に満足することなく、地域の方々の意見にさらに耳を傾けながら、先進的な事例も取り入れつつ、取組を充実させるだけではなく、持続可能な取組となるよう、カリキュラムおよび学習内容等の更なる見直しと改善を図っていきたい。

【 永久津中学校 】

1 実施状況 ◎今年度初めて実施した活動

- 読み聞かせ(通年) ○ 交通安全教室(4月) ○ PTAによる美化活動(5月・11月)
- 芋の苗植え・収穫体験(5月・10月) ○ 学校保健委員会(6月) ◎命の講話
- 高校説明会(7月・9月) ○ 救急法(7月) ○ 性教育(9月) ○ 農家民泊(9月)
- 職場体験学習、福祉体験学習(9月) ○ ものづくり体験(9月)
- 稲作体験(6月・10月) ○ 手話講座(9月) ○ 租税教室(11月)
- 永久津ドンと祭り(11月) ○ 防災訓練(12月) ○ 蕎麦打ち体験(12月)
- 門松作り(12月) ○ 永久津いきいき交流活動(12月) ○ 食育講話(1月予定)
- ◎ キャリア教育講話※立志式(2月予定) ○ 薬物乱用防止教室(3月予定)

ボランティア登録者数(26)人
年間参加者実数(172)人

【連携・協働している機関】

JA こばやし、永久津宮農組合、永久津いきいき協議会
小林市社会福祉協議会、小林市キャリア教育支援センター他

2 特色ある取組の紹介

(1)「芋の苗植え・収穫体験」

- 地域コーディネーターの皆さんからアドバイスを頂きながら芋の苗植え及び芋の収穫を行った。新しい取組として、収穫した芋を販売することも計画していたが、天候不順や食害等によって、昨年度と比べて大幅に収穫量が少なかったため、次年度、あらためて企画することとした。また、収穫した芋を使い、家庭科の授業(調理実習)でさつまいもを使った「サツマイモご飯、大学芋」を作り、どれも美味しくいただいた。



(2)「命の講話」(学校保健委員会)



- 「命の講話」として、実際に犯罪に巻き込まれ、娘さんを亡くされた方の話を聞く機会を設定した。「初めて、このような講話を聞き、涙が止まりませんでした。命の大切さを改めて感じ、自宅でも家族で話をしました。」「講話を直接聞き、遺族の方の複雑な感情や思いが、心にすぐく伝わってきて、命の大切さ・重み、今を生きる大事さなど、いろいろなことを考える良い機会となりました。」などの感想を多くいただいた。

(3)「永久津ドンと祭り」

永久津いきいき協議会主催の「永久津ドンと祭り」が4年ぶりに開催されることになり、当日の参加に加え、前日準備や片付けにも中学生が参加した。地域と一体となって取り組む活動となっている。地域からは、「中学生の協力が不可欠」との意見をいただいている。次年度からは、「永久津ドンと祭り」の実行委員会の段階からの中学生の参加を提案している。



3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- コロナ禍以降の取組として、地域の活動に積極的に関わることができた。
- 学校のさまざまな活動を展開するにあたり、地域の方々の協力は必要不可欠である。一方で、地域の活動においても、中学生の協力が求められている。地域の活動を持続可能とするためにも、企画の段階から中学生の意見が反映されるものとした。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

本年度、実施した行事は地域や関係機関との連携ができているものは、今後も継続して取り組んでいきたい。学校保健委員会、性教育、キャリア教育講話、食育講話については、生徒・保護者のニーズを踏まえた内容にしていきたい。

1 実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせ（通年） ○ 東方輪太鼓踊り指導【輪太鼓保存会】 ○ 花いっぱい運動（通年） ○ 登下校安全指導（通年） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉体験学習（7月） ○ ふれあい体験学習（7月） ○ 手話講座（7月）
<p>ボランティア登録者数（ 61 ）人 年間参加者実数（103）人 見込も含む</p>	<p>【連携・協働している機関】 東方地区社会福祉協議会・社会福祉法人連絡会</p>

2 特色ある取組の紹介

福祉・進路に関する体験学習【総合的な学習の時間・生徒会活動】

☆福祉体験学習

小林市社会福祉協議会の方々から、身体の不自由な人や高齢者の方々の生活について、擬似装具や車いす体験から学びました。2日目は実際に福祉施設等で交流したり、お世話をさせていただくなどの体験をしました。



（生徒感想）装具をつけると、日頃と違ってとても不便でした。高齢者の気持ちが少しわかりました。

☆花いっぱい運動

全校生徒で種から丹精込めて育てた花を、お世話になった福祉施設や地域の一人暮らしの高齢者に贈る活動をしています。毎年、心あたたまるお礼の手紙や電話をいただいています。



（生徒感想）入所されている方々に喜んでいただけて良かったです。これからも花を育てたいです。

☆ふれあい体験学習

保育園でのふれあい体験を行いました。園児のことを想像して準備をしましたが、なかなか思うようにいかず苦勞していました。



☆手話講座

講師の方から聴覚障がいについてのお話をいただき、障がいについての理解を深めました。その後、自己紹介の仕方を教えていただきましたが苦戦している生徒が多かったです。また、「糸」という曲を手話で練習しました。



☆読み聞かせ

昨年度から、保護者に依頼し、読み聞かせや「仕事の話」、「中学生に頑張ってほしいこと等」について講話をしていただいています。来校される方々は大変緊張されるようですが、生徒からは好評です。生き方・働き方を考える貴重な時間となっています。



3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 「福祉」学習については、地域の福祉施設の関係者と十分な打合せを行い、連携して体験活動を行うことで、学びの深まりと共に地域を知るきっかけとなっている。
- 輪太鼓踊りについては保護者や保存会と協力し、「陰陽石まつり」「郷土芸能フェスティバル」で披露することができた。郷土芸能を伝承する大切さを生徒・保護者に伝えていくとともに準備・着付けに関してはだれもが参加しやすい方法を検討する必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- 福祉体験学習について探究的な学習となるように学習計画の見直しを図れば、更に充実すると考える。
- 輪太鼓踊りについては「着付けに関する工夫」、「協力体制の構築等」について保存会・保護者・学校で協議を行い、具体的な取組を決める必要がある。

【 三松中学校 】

1 実施状況 ◎今年度初めて実施した活動

- | | | |
|------------------|---------------|------------------|
| ○読み聞かせ（通年） | ○交通安全教室（4月） | ○避難訓練：地震（5月） |
| ○社会人の話を聞く会（6月） | ○高校説明会（6月） | ○薬物乱用防止教室（6月） |
| ○農業体験学習（7月） | ◎太神楽公演（7月） | ○避難訓練：不審者対応（10月） |
| ○岩戸神楽（10月） | ○花壇植栽（11月） | ○職場体験学習（11月） |
| ◎東大教授講演（11月） | ○手話講座（11月） | ○13歳のハローワーク（12月） |
| ○学校保健委員会講演会（12月） | ○鑑賞教室（12月） | ○避難訓練：火災（1月） |
| ○面接指導（1月） | ○立志の集い講演会（2月） | |

ボランティア登録者数(0)人
年間参加者実数(286)人 見込も含む

【連携・協働している機関】

- ・KSSVC事務局、小林市地方創生課、
- ・小林市キャリア教育支援センター、岩戸神楽保存会
- ・北きりしま田舎物語推進協議会、三松中読み聞かせ等

2 特色ある取組の紹介

【社会人の話を聞く会(6月)】

第3学年を対象に、薬剤師、Iターン起業家、社長業等、7名の講師をお招きし、現在の職業に至るまでの経緯について話を熱く語っていただく機会を得た。

講師の方々からは、「やりたいことをするためには、やりたくないこともやる」、「自分の気持ちに従うことが大切」、「小林は可能性を秘めた街」等、大いに参考となる話があった。



【農業体験学習(7月)】

北きりしま田舎物語推進協議会のご支援のもと、第1学年は、1日体験学習として、小林市、えびの市、高原町の13の農家の方々にお世話になり、通常の学校生活では学習できない貴重な学びとなった。

受入れ農家代表の方から「勤労の尊さや日本の食を支える農業を大切にしてほしい」との言葉があった。



【岩戸神楽(10月)】

毎年、文化発表会の折に、地元神社に伝わる神楽を舞うことが第2学年の伝統となっている。

舞手、篠笛、太鼓等を担う生徒は、神楽保存会の方々の指導を受け、発表当日、一体感溢れる神楽を舞うことができた。

「三松地区の伝統である神楽を守るきっかけにしてほしい」との保存会代表の言葉を大切にしていきたい。



【太神楽公演(7月)】 ※本公演及び下記講演は全校生徒対象

小林市キャリア教育支援センターのご紹介により、江戸太神楽の仙若さんを講師に、「太神楽公演in三松中」を開催した。江戸時代に起源をもつ太神楽曲芸の素晴らしさに魅了され、参観者一同、貴重な伝統芸能を体感する機会となった。



【東大教授講演(11月)】

小林市地方創生課より、時代の最先端で活躍されている東京大学先端科学研究センターの2名の教授から「Chat-GPTを含む生成AIの歴史やAIの未来への可能性」に関する講話を聞く機会を提供いただき、子どもたちは高度な内容の話に大いに刺激を受けていた。



3 取組の成果と課題 (○：成果 ●：課題)

- 様々な関係機関との連携のもと、各学年において、多様な学びを展開することができた。新たな取組としての太神楽公演、東大教授による講演等、子どもたちにとって貴重な経験となった。
- 地域ボランティアの活用について、依然、課題であり、「開かれた学校」の具現化の一つの形として実効性のあるものへと次年度当初から募集等を行っていく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

地域コーディネーターと連携を密に図りながら、地域ボランティアの活動内容の洗い出し、連携方法や募集等を行う。また、子どもたち、職員の地域の行事への積極的参加を促し、学校と地域との交流を増やす機会を意図的に設定することで、協働の学校づくりの具現化を図っていく。

1 実施状況 ◎今年度初めて実施した活動

○ 読み聞かせ（通年）	○ 交通安全教室（4月）	◎ 農業体験学習（6月）
○ 保育園訪問（7月）	○ 薬物乱用防止教室（7月）	○ 情報モラル教育（7月）
○ 暮らしの困り事たすけ隊（8月）	○ 地震対応避難訓練（9月）	
○ 手話講座（9月）	○ 防災学習（9月）	○ 水泳指導・見守り（9月）
○ 職場体験学習（9月）	◎ 土俵縄づくり（10月）	○ 火災対応避難訓練（12月）
○ 年賀状交流（12月）	○ 小林未来予想図での地域学習（7月～12月）	
○ バスの利用講習（3月）	○ 植樹祭（3月）	
ボランティア登録者数（30）人 年間参加者実数（100）人	【連携・協働している機関】 学校運営協議会 社会福祉協議会須木支所 須木友愛クラブ すきむらづくり協議会 御池青少年自然の家 小林土木事務所 すきむらんど 等	

2 特色ある取組の紹介

【防災教育】

1年生を対象に須木の砂防ダム見学・講話を、9月には1・3年生を対象に高原町にある砂防ダム見学・講話を実施した。1年生はこの体験をもとに、1月に行われた学習成果発表会で、まとめ及び発表を行った。生徒からは「身近に生活を守る設備を知ることができて良い体験だった」「なるほどと思うことが多かった」等の感想が聞かれた。

【暮らしの困りごと助け隊】

夏季休業中に小林市社会福祉協議会須木支所に中心になっていただき、須木地区のボランティア活動を実施した。全生徒が、地域の区長さんと共に意欲的に活動した。

【しめ縄づくり】

12月に地区の友愛会の方々を講師に招いてしめ縄づくりを実施した。わらを準備していただき、熱心に指導していただいた。友愛クラブの方々には「毎年、楽しみにしている」とありがたい言葉をいただいている。

【土俵の縄づくり】

すきむらづくり協議会に中心になっていただき、11月に開催されるほぜ祭りで使う土俵の縄づくりに参加した。地域の方々も参加し、縄づくりは友愛クラブの方々に指導していただいた。今回初めての取組であったが、充実した内容であったため、次年度も継続して取り組みたい。



砂防ダム見学



暮らしの困りごと助け隊



土俵づくり



しめ縄づくり

3 取組の成果と課題 (○：成果 ●：課題)

- 社会福祉協議会やすきむらづくり協議会に中心となっていただいたことで学校側の負担が軽減できた。
- 専門分野に長けている地域人材を活用し、深みのある活動ができた。
- 地元の第一次産業とのタイアップを図っていきたい。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

地域の特色を生かした地域学習ができるよう、さらに多くの地域の方々と新しい協働体制の構築を図りたい。特に須木地区は米や栗が特産でもあるので収穫などの体験もさせられるようにしたい。

【野尻中学校】

1 実施状況 ◎ 今年度初めて実施した活動

<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせ（通年 2月1回：たんぼぼ） ○ 部活動指導（通年：7名） ○ 交通教室（4月） ○ 避難訓練「災害時引き渡し訓練」（5月） ◎ えびの駐屯地自衛隊員による救急救命講習会（6月） ○ 学校保健委員会（6月） ○ 高校説明会（6月） ○ 手話講座（6月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育（7月・12月） ○ 薬物乱用防止教室（11月） ○ 職場体験学習（11月） ◎ スクールコンサート「新体操鑑賞」（11月） ○ 性教育（1月・2月・3月） ○ キャリア教育講演会（2月） ○ 給食感謝集会（2月）
ボランティア登録者数（21人） 年間参加者実数（166人）	【連携・協働している機関】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小林市キャリア教育支援センター ○ 読み聞かせグループたんぼぼ

2 特色ある取組の紹介

<p>《避難訓練「災害時引き渡し訓練」》</p> <p>自然災害時（緊急時）における生徒の安全確保と保護者との連携をスムーズに行うため、また、安全かつ確実に保護者や引き受け者に引き渡せるようにすることをねらいに、中学校区にある保・幼・小・中の5校合同で、同日に「災害時の保護者への引き渡し訓練」を実施した。地区ごとに色分けした「ネームプレート」を作製し、車のダッシュボードに提示してもらったり、学校付近及び校内への車の進入口を分けたり、校内での車の進行方向を一方通行にしたりするなど工夫改善を加えたことで、特に大きな混乱もなく実施できた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>《自衛隊員による「救急救命講習会」》</p> <p>陸上自衛隊えびの駐屯地から12名の隊員をゲストティーチャーにお招きし、「救急救命講習会」を実施した。心肺蘇生法やAEDの使い方、搬送の仕方や応急手当等、生徒たちにとって緊急時における対応の仕方を学ぶ、たいへん意義深い時間となった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>《スクールコンサート「新体操鑑賞」》</p> <p>普段鑑賞する機会の少ない新体操を間近で鑑賞することで、新体操の魅力や楽しさを味わわせ、新体操を鑑賞する態度を育成することをねらいに実施した。</p> <p>★感想★全国レベルで活躍している鹿児島実業高校・小林秀峰高校の新体操の演技を初めて生で観て、演技者の息遣いや転回系の技の音が乱れることなく一致していることに感動した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
--	---

3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナの5類感染症移行後、少しずつではあるがコロナ以前の対面式での取組が増え、多くの「学び」を得ることができた。状況に応じて実施方法を工夫し「リモート開催」にするなど、対面式と変わらない「学び」を得ることができた。 ● 学校と地域コーディネーターとの相互の連携を密にしていける必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事や地域、関係機関との連携による行事については、活動の見直しや精選を図る必要がある。 ○ キャリア教育支援センターとの連携を今後も継続し、さらにキャリア教育の推進を図りたい。 ○ 様々な活動を展開するにあたり、地域の方々の協力は必要不可欠である。今後は、地域の人材を発掘していくことが課題である。

1 実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ○ 陸上クラブ指導（通年） ○ 朝の交通指導・あいさつ（通年） ○ 読み聞かせ（通年：月1回） ○ 稲作体験学習（田植、稲刈り、餅つき） （5月、7月、8月、9月、10月、12月） ○ 薬物乱用防止教室（6月） ○ 手話講座（6月） ○ 高校説明会（6月） ○ プール清掃（6月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域植栽活動（7月） ○ 陶芸教室（7月、9月） ○ 租税教室（7月） ○ スマホ・ケータイ安全教室（7月） ○ 伝統芸能城攻め踊り指導（9月、10月） ○ 職場体験学習（11月） ○ 高妻神社清掃（11月） ○ 避難訓練：火災（11月） ○ 世代間交流「しめ縄作り」（12月）
<p>ボランティア登録者数(延78)人 年間参加者実数(延200)人 見込も含む</p>	<p>【連携・協働している機関】 読み聞かせグループたんぽぽ、KSSVC事務局 紙屋校区社会福祉協議会、地域コーディネーター 紙屋一徳まちづくり協議会</p>

2 特色ある取組の紹介

1 稲作体験学習（田植え、稲刈り、もちつき）

- 活動内容
学校近くにある学校田で、地域コーディネーターや保護者の協力を得ながら5月にもち米の田植えをした。10月の稲刈りまでの間は、田んぼ周辺の草刈りや管理、12月には全校生徒と全保護者、全教職員で刈ったもち米で餅つきをして試食会を行った。
- 参加者の声
生徒は、「たくさんもち米が実ってほしい」「12月の餅つきが楽しみです」と、コーディネーターは「毎年恒例だからではなく、少しでも農業に興味をもってくれるとうれしいです」「子ども達の笑顔が見られてこちらもうれしい幸せな気持ちになります」と述べていた。体験終了後には、生徒代表が「今年も貴重な体験ができました。ありがとうございました。」とお礼を述べた。



2 地域植栽活動

- 活動内容
第1学年の生徒を対象とした取組で、紙屋一徳まちづくり協議会の依頼を受け、学校から約1km離れた花壇まで一緒にゴミ拾いをしながら行き、花壇では4種類の花をきれいに並べて植えた。
- 参加者の声
生徒は、「僅かな距離にも道路の片隅にゴミがたくさんあって驚いた。ポイ捨てをしない大人になろうと思う」まち協の木下区長は「みなさんのお陰で通学路にきれいな花を植えることができ、とてもうれしいです」と子ども達にお礼を述べていた。



3 取組の成果と課題（○:成果 ●:課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者や地域住民を中心としたボランティアの皆様の学校教育に対する期待は大きく、非常に協力的で多様な取組を推進することができた。 ○ 「学校だより」や学級通信、新聞記事等をとおして、保護者や地域に学校の取組を知ってもらうための情報発信を行うことができた。 ● 長期休業中の花の世話をしてくださる地域ボランティアを探したが見つからなかった。 ● 地域の伝統芸能「城攻め踊り」の後継者が不足している。
--

4 課題解決の方策、今後の方向性など

<p>ボランティアの協力者のほとんどが高齢者ということもあり、5類に引き下げられても依然として感染症への対策は考慮しながらの取組となる。その中でもできるだけ例年通りの活動ができるよう工夫しながら今後も取り組んでいきたいと考えている。</p>
--

小林市の地域学校協働活動 ～ 成果・課題・今後の方向性など ～

各学校の成果・課題・方向性の一部を関連する内容ごとにまとめました。詳しくは学校のページをご覧ください。
編集後記の中で考察しています。

【活動の目的・内容】

- ◇ 児童に活動の目的を十分理解させるとともに、自分たちでできる活動を明確にしておく必要がある。今年度行った活動の反省点などを確実に引き継いで、さらに充実した活動にしていきたい。(細野小)
- ◇ 総合的な学習の時間やこすもす科のねらいに沿った効果的な活動を、今後も職員間で引継ぎしたり検討したりして、実施していきたい。(三松小)
- ◇ それぞれの行事の意義や目的についてもう一度見直し、学校と保護者、地域の三者の意向をバランスよく取り入れながら進めていく必要がある。(栗須小)
- ◇ 福祉体験学習について探究的な学習となるように学習計画の見直しを図れば、更に充実すると考える。(東方中)
- ◇ 各種行事について、活動の見直しや精選を図る必要がある。今後もキャリア教育支援センターとの連携を継続し、さらにキャリア教育の推進を図りたい。(野尻中)

【地域への理解・愛着】

- ◇ 地域にゆかりのある一流の方々（文化・芸能）による授業や、家庭教育学級と連携した親子で学ぶ取組により、児童の意欲の向上が図れ、ふるさと・地域のよさを再確認することができた。(西小林小)
- ◇ 専門家やボランティアによる地域の自然環境や文化財の学習を通して地域への理解を深め、誇りをもたせることができた。(東方小)
- ◇ 地域行事に積極的に参加し、地域の方々とはふれあう機会を増やすとともに、ボランティアを含めた人材発掘に努められるように、地域とのきずなを深める学校のマネジメントの工夫と改善を図る。(永久津小)
- ◇ 今後も地域に愛され地域に根ざした学校として、学校と地域、双方の思いを汲み取り、みんなが楽しみながら学べる活動を目指したい。(幸ヶ丘小)

【教職員の働き方・負担の軽減】

- ◇ 外部講師との5回ほどの事前の打ち合わせや、材料や場所の準備など、大変なこともあった。「シンプルで」「無理なく」「継続」できるように、組織や計画を見直すことが課題である。実行委員会などの組織をつくり、効果的な運営、計画、活動にしていく。(小林小)
- ◇ 地域の方に学校環境整備作業を行っていただき、保護者・児童・職員の負担を減らすことができた。(須木小)
- ◇ 地域学校協働活動を継続していく上で、負担感より満足感や達成感が勝るような取組を今後も計画していかななくてはいけない。(小林中)

◇ 社会福祉協議会やすきむらづくり協議会に中心となっていたことで学校側の負担が軽減できた。また、専門分野に長けている地域人材を活用し、深みのある活動ができた。

(須木中)

【緩やかなネットワーク】

◇ ボランティアや地域の方と、活動目標や計画を共有できるよう連絡を取り合うことが必要である。学校と地域が互いのニーズをもとに連携できるよう計画的に打合せの場を設定したい。

(南小)

◇ 数多くの方や機関と連携・協働しながら教育活動が行われているが、今後は横の繋がりを強化していくことにより、更に組織的・計画的な教育活動を行っていききたい。

(野尻小)

◇ 学習支援の内容について関係者との協議を行い、振り返りと改善を行っていく。また新規ボランティア発掘のために地域への呼びかけを行っていく。

(紙屋小)

◇ 活動の見直しや精選を図りながら地域や関係機関と連携し、学校教育全体計画を編成していく。それらの視点をもとに「子どもファースト」の活動を実践する。

(細野中)

◇ 地域住民の意見にさらに耳を傾け、先進的な事例も取り入れつつ、取組を充実させる。さらに、持続可能な取組となるよう、カリキュラムおよび学習内容等の更なる見直しと改善を図る。

(西小林中)

◇ 地域の活動に中学生の協力が求められている。活動を持続可能とするためにも、企画の段階から中学生の意見が反映されるようにしたい。

(永久津中)

◇ 子どもたちと職員の地域行事への積極的参加を促し、学校と地域との交流を増やす機会を意図的に設定することで、協働の学校づくりの具現化を図っていく。

(三松中)

◇ 保護者や地域住民を中心としたボランティアの学校教育に対する期待は大きく、非常に協力的で多様な取組を推進することができた。

(紙屋中)

2023(令和5)年度 KSSVC 事務局 取材等一覧

1	4. 7	金	細野まち協	聞き取り(協働活動の現状について)	中島さん(事務局)
2	4.10	月	地方創生課	きずな協働体について	平松さん・谷村さん
3	4.13	木	永久津中	1年交通安全教室	押領司さん(サイクリング協会)
4	4.14	金	西小林小	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
5	4.14	金	紙屋中	新入生歓迎会	自校方式
6	4.17	月	東方中	交通安全教室	NPO 法人ペダルハートきりしま
7	4.17	月	須木中	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
8	4.20	木	幸ヶ丘小	1年生を迎える会	自校方式
9	4.25	火	細野小	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
10	4.27	木	東方小	こすもす支援学校との対面式	自校方式
11	4.27	木	細野中	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
12	4.28	金	小林小	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
13	4.28	金	野尻中	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
14	5. 8	月	野尻小	ボランティア集会・ボランティア会議	学校支援ボランティア7名
15	5.10	水	南小	交通安全教室	梅田ドライビングスクール
16	5.11	木	三松中	読み聞かせ	読み聞かせサークル
17	5.18	木	紙屋小	1・2年さつまいもの苗植え	JA こばやし・保護者
18	5.18	木	小林小	6年二原遺跡見学	小林ガイドボランティア協会
19	5.22	月	野尻小	1・2年さつまいもの苗植え	JA こばやし・保護者
20	5.23	火	西小林小	5年畔づくり	JA こばやし青年部・PTA 環境整備部
21	5.24	水	細野中	1年図書館オリエンテーション	川野さん(小林市立図書館)
22	5.25	木	栗須小	2年さつまいもの苗植え	営農組合・包括支援センター・JA 他
23	5.25	木	栗須小	3年ホテルの授業	鳥井さん(商工観光課)
24	5.26	金	東方小	読み聞かせ	よんみろ会
25	5.26	金	幸ヶ丘小	1~4年さつまいもの苗植え	地域住民
26	5.26	金	紙屋小中	5年生・中学生田植え	営農組合・JA こばやし
27	5.30	火	西小林中	3年認知症サポーター養成講座	小林市西部地域包括支援センター
28	5.30	火	永久津小	6年かくれ念仏洞見学	自校方式
29	6. 2	金	栗須小	学校支援ボランティア歓迎集会	営農組合・みかんやまスマイル会議他
30	6. 8	木	南小	読み聞かせ	サークル「たんぼぼ」
31	6. 8	木	三松中	3年社会人の話を聞く会	6名の社会人
32	6. 9	金	小林中	1・2年読み聞かせ	サークル「小林子ども遊学会」
33	6.12	月	紙屋小	ハートタイム(読み聞かせ)	サークル「たんぼぼ」
34	6.13	火	西小林小	5・6年田植え	JA こばやし青年部・PTA 役員
35	6.14	水	東方中	読み聞かせ	高妻さん(保護者)
36	6.15	木	三松小	2年まちたんけん	自校方式
37	6.16	金	永久津小	4年社会科見学	九州北清・清掃工場
38	6.19	月	細野小	4年非行防止教室	都城警察署少年サポートセンター
39	6.20	火	須木小	4年浄水場見学	小林市上下水道課
40	6.22	木	小林中	3年手話講座	木の実会・手話通訳者派遣協会
41	6.23	金	野尻中	3年手話体験学習	野尻手話サークル
42	6.23	金	野尻中	3年職業講話	餅原さん(高等工科学校)
43	6.23	金	永久津小	5年・中学生合同田植え	JA こばやし
44	6.26	月	紙屋小	1・2年七夕づくり	地域住民
45	6.27	火	東方小	4年えびの市美化センター見学	美化センター職員
46	6.29	木	県教委	地域学校協働活動推進員等研修会	地域住民・行政関係者等
47	6.30	金	須木中	農業体験学習	北きりしま田舎物語
48	6.30	金	細野小	灯ろう作り	細野まちづくり協議会
49	7. 4	火	小林小	6年租税教室	小林税務署・小林法人会

50	7. 5	水	東方中	1年児童福祉体験学習	東方保育園
51	7. 6	木	紙屋中	1年地域に花を植える活動	紙屋一徳まちづくり協議会
52	7.12	水	東方小	5年生ふれあい交流	こすもす支援学校5年生
53	7.13	木	三松中	3年小中交流学習	三松小1年
54	7.13	木	市教委	「協働の学校づくり」推進協議会	学校・地域コーディネーター他
55	7.14	金	三松中	江戸太神楽の公演	仙若さん
56	7.20	木	野尻小	5・6年棒踊りの練習	棒踊り保存会
57	7.21	金	紙屋中	SDGs 講演会	難波裕扶子さん(シンク・オブ・アザーズ)
58	7.24	月	県教委	地域と学校の「絆」推進委員会	地域学校協働活動関係者
59	7.26	水	社会教育	霧島・小林探検隊「水質・水中生物調査」	小6(4名)社会教育課・小林保健所等
60	7.27	木	県教委	県民総ぐるみ「地域・学校づくりのつどい」	地域学校協働活動関係者
61	8. 2	水	須木中	暮らしの困り事助け隊	小林市社会福祉協議会須木支所
62	8. 7	月	キャ教支	こばやし・テナムで学びの1週間	読み聞かせ/高校生寺子屋
63	8.10	木	キャ教支	「多様な性を理解する」講演会	黒木瑞季さん(男女共同参画地域推進員)
64	8.29	火	須木小	3年すき特産見学	すき特産職員
65	8.29	火	須木小	4～6年クラブ活動(SUP 体験)	すきむらんど
66	9. 7	木	紙屋小	4～6年城攻め踊りリハーサル	保存会・保護者
67	9. 8	金	南小	3年社会科見学	まちなか松栄
68	9.12	火	須木中	3年手話講座	木の実会
69	9.15	金	西小林小	大野勇太さんコンサート	大野勇太さん
70	9.15	金	永久津小	3年社会科見学	コープ小林店
71	9.19	火	細野中	3年性に関する教育	宮崎大学思春期ピアカウンセリング事業
72	9.22	金	細野小	2年市立図書館見学	図書館職員
73	9.26	火	東方小	5年手話の学習	木の実会
74	9.26	火	永久津中	ものづくり体験	造園・建具技能士
75	9.28	木	野尻小	3年手話の学習	野尻手話サークル
76	10. 2	月	細野小	3年手話教室	木の実会
77	10. 3	火	細野小	5年手話教室	木の実会
78	10. 5	木	紙屋中	1年陶芸教室	園田さん(園田陶苑)
79	10. 5	木	永久津中	芋の収穫	神之藪さん・今別府さん
80	10.12	木	細野小	4年史跡めぐり	小林ガイドボランティア協会
81	10.12	木	南小	ななつ星歓迎式典	小林市企画政策課
82	10.12	木	三松中	2年岩戸神楽の練習	岩戸神楽保存会
83	10.17	火	三松小	4年・5年非行防止教室	都城警察署少年サポートセンター
84	10.19	木	細野小	5年稲刈り	JA こばやし・細野まちづくり協議会
85	10.23	月	紙屋小	4年広沢ダム見学	有留さん(漆野原土地改良区元理事長)
86	10.24	火	幸ヶ丘小	フラワーアレンジメント体験	フラワー装飾技能士
87	10.25	水	栗須小	稲刈り	PTA 事業部・営農組合
88	10.26	木	須木小中	縄編み(小学生3年以上・中学生)	地域住民
89	10.26	木	南小	1年昔の遊びフェスティバル	地域住民
90	10.27	金	西小林小	5・6年稲刈り	JA こばやし青年部・保護者
91	10.30	月	三松小	5年稲刈り	地域住民
92	10.31	火	永久津小	味覚の授業	地井潤さん(Kokoya de kobayashi)
93	11. 7	火	東方小	避難訓練(火災)	中央消防署
94	11. 7	火	東方中	パラスポーツ交流会	こすもす支援学校中学部
95	11. 8	水	東方小	交流発表タイム	こすもす支援学校小学部
96	11. 9	木	須木小	4年校外学習(東方大丸太鼓橋他)	小林ガイドボランティア協会
97	11.10	金	細野小	2年国際交流学習	トニーさん(国際交流員)
98	11.17	金	幸ヶ丘小	花いっぱい活動	学校用務員
99	11.22	水	須木小	4年放流体験学習	須木漁協・須木支所

100	11.22	水	細野中	3年(株)ミヤザキ工場見学	山之上道廣社長
101	11.24	金	小林中	2年職場体験学習	市内58事業所
102	11.24	金	細野小	4年そばの収穫	JAこばやし・営農組合
103	11.29	水	小林中	3年未来予想図発表会	高校教諭他
104	11.29	水	小林中	災害時引渡し訓練	保護者
105	12.4	月	細野中	折れない心を育てるいのちの授業	エンドオブライフ・ケア協会
106	12.5	火	三松小	3年手話教室	木の実会
107	12.5	火	三松小	5年三松保育園見学	保育園職員
108	12.5	火	三松小	6年租税教室	小林税務署
109	12.7	木	須木小	3年警察署見学	小林警察署
110	12.7	木	西小林中	1年小林秀峰高校福祉科見学	小林秀峰高校2年生
111	12.8	金	細野小	4年いのちの授業	宮崎県動物愛護センター
112	12.12	火	紙屋小	2年校外学習	野尻給食センター・市立図書館野尻分館
113	12.13	水	南小	6年租税教室	小林法人会
114	12.13	水	三松小	クリスマスおはなし会	わたぐも絵本の会
115	12.14	木	小林中	3年LGBTQ講演会	串間直紘さん(Human Activist)
116	12.15	金	紙屋中	1年しめ縄づくり	紙屋地区社会福祉協議会
117	12.19	火	永久津中	小6・中1・保育園そば打ち	JAこばやし北支所
118	1.12	金	西小林小	JICAの授業	戸高将先生
119	1.16	火	東方小	トヨタの授業	宮崎トヨタ
120	1.18	木	東方中	3年お守り激励会	こすもす支援学校
121	1.18	木	小林小	小林小・南小合同スクールコンサート	小林小・南小校区まちづくり協議会
122	1.24	水	小林小	5年キャリア教育交流会	保育士・市役所職員など7名
123	1.24	水	東方小	大谷選手のグローブ贈呈式	自校方式
124	1.26	金	野尻小	学校保健委員会(薬物乱用防止教室)	都城警察署少年補導職員
125	1.26	日	幸ヶ丘小	防災教室	日赤奉仕団・小林市危機管理課他
126	2.2	金	野尻中	立志式・記念講演	和田花織さん(リクルート)
127	2.8	木	三松小	3・4年江戸太神楽の公演	仙若さん
128	2.8	木	小林小	6年生に向けてのおはなし会	小林市立図書館・くすのき文庫
129	2.9	金	西小林小	5・6年薬物乱用防止教室	松山文昭さん(学校薬剤師)
130	2.15	木	西小林中	2年立志式・記念講演	大角恭代さん(野菜ソムリエ)
131	2.16	金	三松中	2年立志式・記念講演	和田花織さん(リクルート)
132	2.21	火	細野中	2年立志式	自校方式
133	2.22	木	栗須小	5年夢発表会	自校方式
134	2.27	火	西小林中	2年「性暴力被害者支援」講演会	日高親弘さん(さぼーとねっと宮崎)
135	2.29	木	永久津小	1年園児との交流学習	永久津保育園
136	3.4	月	野尻小	ボランティア感謝集会	ボランティア団体の代表4名
137	3.7	木	紙屋小	5・6年、紙屋中生キャリア教育講演会	大谷貴子さん(全国j骨髄バンク)
138	3.8	金	紙屋小	地域に花を植える活動	紙屋一徳まちづくり協議会他
139	3.8	金	東方中	高齢者に花を贈る活動	区長・民生委員など
140	3.12	水	三松小	6年生へのおはなし会	わたぐも絵本の会

令和5年度 学校別学校支援ボランティア活動実績（年間）

学校名	学校支援ボランティアの活動分野																												合計	ボランティア実人数						
	学習支援活動														部活動		環境整備			学校行事			地域ボランティアとの 連絡調整	児童生徒の休み時間 における対応	給食時の対応	進路指導の補助 (キャリア教育含む)	区分									
	国語	算数・数学	理科	社会	外国語活動・外国語	体育・保健体育	音楽	図画工作・美術	家庭・技術家庭	総合的な学習の時間	生活	道徳	特別活動(学校行事以外)	その他	読み聞かせ	放課後学習支援	土日等学習支援	運動系	文化系	施設・備品等の補修・清掃等	花壇整備・植木剪定等	学校図書室の環境整備					登下校安全指導	体育系		文化系	その他	保護者	(保護者を除く) 地域住民	学生	その他	合計
小林小	実施件数	0	0	0	0	0	4	0	0	0	21	6	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	197	2	1	0	0	0	0	0	239					
	延べ人数	0	0	0	0	0	4	0	0	0	98	24	0	0	0	111	0	0	0	0	0	0	1576	99	10	0	0	0	0	1922	520	1392	0	10	1922	
南小	実施件数	0	77	0	4	0	0	0	5	3	0	0	9	145	32	0	0	0	0	0	0	0	206	0	1	0	0	0	0	482						
	延べ人数	0	144	0	7	0	0	0	5	9	0	0	12	345	189	0	0	0	0	0	0	0	412	0	25	0	0	0	1148	73	224	0	0	297		
細野小	実施件数	0	0	0	1	0	1	0	0	13	4	2	1	96	10	0	0	0	0	3	2	0	205	2	0	2	0	0	0	342						
	延べ人数	0	0	0	10	0	6	0	0	101	4	8	3	192	119	0	0	0	0	17	262	0	3075	30	0	17	0	0	3844	377	388	0	0	765		
西小林小	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	14	10	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	50							
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	85	0	0	5	69	40	0	0	0	0	0	0	84	0	0	0	0	0	0	283	87	90	0	0	177		
東方小	実施件数	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3	1	0	0	1	10	0	0	0	0	0	204	0	0	3	0	0	0	226							
	延べ人数	0	0	0	0	1	0	0	0	12	4	10	0	4	58	0	0	0	0	0	0	820	0	0	15	0	0	0	924	43	79	0	7	129		
永久津小	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1	0	16	110	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	133							
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4	0	2	0	94	321	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	430	32	124	0	9	165		
三松小	実施件数	3	0	0	4	0	1	1	0	0	7	5	0	9	0	9	0	0	0	2	0	12	206	2	0	3	0	0	0	264						
	延べ人数	3	0	0	4	0	4	5	0	0	29	5	0	15	0	161	0	0	0	228	0	12	2884	70	0	15	0	0	0	3435	459	179	0	36	674	
幸ヶ丘小	実施件数	0	0	0	0	0	10	0	0	2	12	0	0	0	2	18	24	0	0	0	9	7	0	206	3	1	6	4	0	0	304					
	延べ人数	0	0	0	0	0	10	0	0	5	12	0	0	0	7	18	75	0	0	0	9	34	0	206	38	15	28	10	0	0	467	39	110	8	25	182
須木小	実施件数	0	0	0	7	0	0	0	0	6	3	0	2	1	12	0	0	0	0	0	3	0	206	0	0	2	0	0	0	242						
	延べ人数	0	0	0	18	0	0	0	0	0	16	9	0	6	2	50	0	0	0	0	57	0	643	0	0	10	0	0	0	811	65	96	0	47	208	
野尻小	実施件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	17	2	0	0	62	13	0	0	0	0	1	2	0	203	0	0	0	0	0	0	301					
	延べ人数	0	0	0	0	0	2	0	0	0	103	50	0	0	112	38	0	0	0	0	13	154	0	1958	0	0	0	0	0	0	2430	385	280	0	0	665
栗須小	実施件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	4	0	3	28	8	0	0	0	0	8	2	0	33	0	0	8	1	0	0	103					
	延べ人数	0	0	0	0	0	3	0	0	0	99	55	0	33	43	24	0	0	0	0	45	108	0	618	0	0	212	8	0	0	1248	813	435	0	0	1248
紙屋小	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3	0	0	0	16	0	0	0	0	0	3	0	198	2	0	0	0	0	0	232						
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	42	42	0	0	0	36	0	0	0	0	0	110	0	198	18	0	0	0	0	0	446	94	90	0	27	211	

学校名	学校支援ボランティアの活動分野																												ボランティア実人数									
	学習支援活動																	部活動		環境整備			学校行事			合計	区分											
	国語	算数・数学	理科	社会	外国語活動・外国語	体育・保健体育	音楽	図画工作・美術	家庭・技術家庭	総合的な学習の時間	生活	道徳	特別活動(学校行事以外)	その他	読み聞かせ	放課後学習支援	土日等学習支援	運動系	文化系	施設・備品等の補修・清掃等	花壇整備・植木剪定等	学校図書室の環境整備	登下校安全指導	体育系	文化系		その他	地域ボランティアとの連絡調整	児童生徒の休み時間における対応	給食時の対応	(キヤリア教育含む)進路指導の補助	保護者	(保護者を除く)地域住民	学生	その他	合計		
																																					延べ人数	延べ人数
小林中	実施件数	0	182	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	197					
	延べ人数	0	182	0	0	0	0	0	2	21	0	0	0	0	108	0	0	0	0	68	46	0	0	36	0	0	0	0	0	0	7	470	100	83	16	12	211	
細野中	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	32	18	0	0	40	0	2	0	205	2	0	1	0	0	0	0	0	301							
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	64	54	0	0	40	0	0	79	0	3075	25	0	35	0	0	0	3378	138	245	0	6	389			
西小林中	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	5	7	0	0	4	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	27								
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	21	27	0	0	29	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	110	1	90	4	5	100				
永久津中	実施件数	0	0	0	1	1	2	0	2	9	0	0	4	0	10	0	0	52	0	3	0	1	2	3	2	35	10	0	4	141								
	延べ人数	0	0	0	2	3	5	0	5	35	0	0	27	0	30	0	0	52	0	0	55	0	1	20	50	21	50	10	25	391	111	101	0	47	259			
東方中	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	2	2	8	0	0	11	0	0	0	0	183	1	0	0	0	0	0	212								
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	2	2	8	0	0	11	0	0	0	0	225	15	0	0	0	0	270	62	22	0	0	84				
三松中	実施件数	0	0	0	0	2	0	0	0	15	0	0	3	1	8	0	0	366	0	2	4	0	189	2	2	8	0	0	0	602								
	延べ人数	0	0	0	0	12	0	0	0	154	0	0	29	18	48	0	0	366	0	30	215	0	1890	25	49	60	0	0	2896	280	304	37	13	634				
須木中	実施件数	0	0	0	0	0	3	0	0	1	3	0	0	11	0	12	0	1	0	0	2	0	204	2	1	0	2	0	0	242								
	延べ人数	0	0	0	0	0	3	0	0	1	5	0	0	46	0	12	0	5	0	0	0	30	0	24	30	16	0	2	174	60	38	3	73	174				
野尻中	実施件数	0	0	0	0	0	4	0	0	0	5	0	0	1	1	5	0	0	47	0	1	3	1	1	0	7	28	18	0	3	126							
	延べ人数	0	0	0	0	0	15	0	0	0	59	0	0	51	1	31	0	0	329	0	6	229	1	4	21	0	13	29	18	0	7	814	316	98	40	61	515	
紙屋中	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	10	0	0	249	0	2	3	0	207	0	6	13	0	0	0	5	500							
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	10	0	0	249	0	11	33	0	207	0	25	42	0	0	19	613	60	552	1	0	613			
全学校合計	実施件数	3	259	0	17	4	27	1	0	20	159	30	2	51	385	249	134	1	765	0	29	38	13	2874	23	15	56	70	28	0	13	5155						
	延べ人数	3	326	0	41	16	52	5	0	51	934	203	8	260	859	1268	396	5	1047	0	427	1412	13	17900	431	190	472	99	28	0	58	26319	4115	5020	109	378	9622	

編集後記

小・中学校の地域学校協働活動をまとめた「実践記録集」をお届けします。今年度は、これまで発行していた事務局の記録「一年間のあゆみ」に掲載していた内容も一部加えました。

事務局では、各種活動の取材、地域と学校への広報活動、ボランティアの募集と学校への紹介などに取り組んできました。地域と学校の皆様には、訪問の度に丁寧に対応していただき、心よりお礼を申し上げます。

さて、業務や各学校の実践記録を通して感じたことを、キーワードと共に紹介します。

◇ 活動の目的・内容

恒例になっている取組ほど活動自体が目的となりがちです。地域学校協働活動を通して何を変え、何を生み出していくかという視点が大切です。

◇ 地域への理解・愛着

地域ボランティアとの交流から子どもたちはさまざまなことを学びますし、地域への思いも強くなります。同時に、「子どもたちから元気をもらいました」と、活動の度に地域の方から聞きます。地域学校協働活動は、大人にとっても「生きがい」ですし、地域を創る力の源にもなります。

◇ 教職員の働き方・負担の軽減

以前、「打合せや事前の準備に時間を取られる」という課題を耳にし、職員間の丁寧な引継が必要だと感じました。最近では、外部人材を積極的に活用することにより学校の負担を軽減する動きも数多く見られます。学校間の情報を共有しながら活動を積み重ねることでノウハウも生まれ、持続可能な取組が増えていくことでしょう。

◇ 緩やかなネットワーク

地域づくりでは、共通の目的をもった個人や団体が繋がることが大切です。会議を開かなくても、活動に参加した保護者や地域住民の繋がりは生まれますし、地域や学校の行事は、人々を結ぶきっかけになります。また、ボランティアと児童生徒との繋がりも大切です。感謝集会や対面式などを行っている学校もあり、相互に「感謝と思い」を伝える場の設定が望まれます。

◇ 児童生徒の参画

町づくりのアイデアを考えることで、子どもたちの地域貢献への意識が芽生え、認められることで自己肯定感が高まります。地域社会の一員であり、将来の地域の担い手である子どもたちの思いを、大人が真摯に受け止めることが求められています。

◇ キャリア教育の視点

一般的には「社会的・職業的自立を念頭に置きながら、子どもたちの成長や発達を促進しようとする見方」。具体的には「基礎的・汎用的能力を育てること」です。地域学校協働活動を推進することで、子どもたちは変化する地域や社会の動向を理解し、さまざまな職業の大人と出会い、社会的・職業的自立に向けた学びを積み重ねていきます。

キャリア教育がテーマではない授業であっても、「仕事に就いた理由」や「仕事の喜び」を大人に尋ねることで社会への関心が高まり、自分の将来を考えることに繋がります。

◇ 学校運営協議会

各学校の学校運営協議会には地域コーディネーターも参加しています。そこで、学校からの報告と委員による承認・評価で終わるのではなく、地域と学校がパートナーとして、子育てや地域づくりについて熟議し、新たな動きを生み出すことが望まれます。

今後も、各学校区で特色ある地域学校協働活動が生まれることを願っていますし、事務局も微力ながらお手伝いさせていただきます。

終わりに、ご指導をいただいた中屋敷史生教育長を始め、教育委員会の皆様、校長先生方、コーディネーターやボランティアの皆様、関係諸機関のご協力に感謝し、簡単ではありますが編集後記と致します。

令和6年 3月

KSSVC事務局

アドバイザー

甲斐 昭児



昔の遊びフェスティバル



こばやしスクールサポートボランティアセンター(KSSVC)

〒886-0004

小林市細野 38 番地 1 (社会教育課内)

TEL 0984-22-7912

FAX 0984-23-9700